

公益社団法人 日本馬術連盟公認(★★★)

第49回近畿馬術大会:障害飛越競技会

実施要項

1. 主催 公益財団法人 兵庫県馬術連盟
 2. 期日 令和4年5月26日(木)・27日(金)・28日(土)・29日(日)
 3. 会場 三木ホースランドパーク
 兵庫県三木市別所町高木 TEL 0794-83-8110

4. 競技種目および基準

日程	競技No.	公認	種目	基準
5月26日(木)	01		フレンドシップ・ジャンプC (H100W130以内)	FEI238-2.1:基準A
	02		フレンドシップ・ジャンプB (H120W140以内)	FEI238-2.1:基準A
	03		フレンドシップ・ジャンプA (H130W150以内)	FEI238-2.1:基準A
5月27日(金)	1	○	中障害飛越D:S&H (H105W130以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害D JEF239/263:基準C
	2	○	中障害飛越C:S&H (H115W140以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害C JEF239/263:基準C
	3	○	中障害飛越B:S&H (H125W150以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害B JEF239/263:基準C
	4	○	中障害飛越A:S&H (H135W160以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害A JEF239/263:基準C
	5	○	大障害飛越B:S&H (H145, W170以内;個数10~13)	J. E. F. 大障害B JEF239/263:基準C
	16		小障害飛越A:S&H (H95W120以内:13個以内)	J. E. F. 小障害A JEF239/263:基準C
5月28日(土)	6	○	中障害飛越D:標準形式 (H110W130以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害D JEF238-2.1:基準A
	7	○	中障害飛越C:標準形式 (H120W140以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害C JEF238-2.1:基準A
	8	○	中障害飛越B:標準形式 (H130W150以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害B JEF238-2.1:基準A
	9	○	中障害飛越A:標準形式 (H140W160以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害A JEF238-2.1:基準A
	10	○	大障害飛越B:標準形式 (H150, W170以内;障害個数10~13)	J. E. F. 大障害B JEF238-2.1:基準A
	17		小障害飛越A:標準形式 (H100W120以内:13個以内)	J. E. F. 小障害A JEF238-2.1:基準A

日程	競技No.	公認	種 目	基 準
5 月 29 日 (日)	11	○	中障害飛越D:ファイナル (H110W130以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害D JEFI275-2:基準A
	12	○	中障害飛越C:ファイナル (H120W140以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害C JEF275-2:基準A
	13	○	中障害飛越B:ファイナル (H130W150以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害B JEF238.2.2:基準A
	14	○	中障害飛越A:ファイナル (H140W160以内:個数13以内)	J. E. F. 中障害A JEF238.2.2:基準A
	15	○	大障害飛越B:ファイナル (H150, W170以内;障害個数10~13)	J. E. F. 小障害C JEF238.2.2:基準A
	18		小障害飛越A:ファイナル (H100W120以内:13個以内)	J. E. F. 小障害A JEF238-2.2:基準A

注1)中障害飛越B, A、大障害B競技には水濺障害(～W350)を含むことがある。

注2)公認競技はすべて屋外競技場で実施する予定であるが、出場数によっては中障害飛越競技の一部をインドアで実施する場合がありますので予めご了承ください。

注3)小障害飛越Aは3競技とも、インドアで実施の予定ですが、時間的に余裕のある場合は、屋外で実施します。

5. 参加資格

(1) 公認種目への出場

- ① 選手は日本馬術連盟会員でB級以上の騎乗者資格を有していること。
- ② 馬匹は日本馬術連盟に登録済みで、障害競技のグレード申請が完了していること、および何れかの公認種目に出場すること。エントリー申込書に、フレンドシップジャンプ、小障害飛越Aのみに出場する馬匹が含まれている場合、当該団体の参加馬数は、それらの数を減じてカウントする。これに対する異議は認めない。
- (2) 輸入検疫解放後、所定の繋養地において隔離飼養3ヶ月を経過していない馬は参加できない。
- (3) 公認以外の種目に出場する選手には上記(1)①の条件は求めないがC級以上の騎乗者資格を有していることが望ましい。
- (4) 選手は何らかの傷害保険に加入していること。
- (5) 参加選手は、必ず健康保険証もしくはそのコピーを持参し身につけていること。
- (6) 追加等で競技(含フレンドシップ)に出場する可能性のある選手は、必ず参加選手名簿に記載すること(記載のない場合、主催者が契約する傷害保険が適用されない可能性があります)。

6. 競技上の規定

- (1) 公認種目への出場は、同一種目1馬1回限りとする。
- (2) 公認でない障害飛越競技種目においては同一種目への同一馬の出場回数は制限しない。
- (3) 出場が1人馬のみの種目は競技を実施しない。ただし棄権により1頭となった場合は実施する。
- (4) フレンドシップ・ジャンプには同一馬はいずれの種目にも出場できる。ただし、同一種目で2回以上出場する場合は、2回目以降はオープン参加となる。

7. 褒 賞

- (1) 入賞は、各競技出場数の上位25%とする。各競技3位までの入賞者に特製メダルを、上位25%までの入賞馬(但し8位を上限とする)にはリボンを贈る(その数は申し込み締め切り時点に基づく)。ただし、公認種目については出場が20人馬以下であっても5位まで表彰する。
- (2) 公認種目に対しては別表に定める奨励金を贈る。
- (3) 小障害飛越Aの3競技の各優勝者に記念品を贈る。
- (4) フレンドシップの上位入賞人馬にはそれぞれの種目の参加料合計の30%を奨励金として贈る。

8. 審査規定

日本馬術連盟競技会規程最新版による。

9. 参加料

- (1) 出場料 1馬1種目1回につき
 - ① 公認競技種目…………… 12,000円
 - ② 公認以外の競技…………… 10,000円
 - ③ フレンドシップ…………… 10,000円
- (2) エントリー受付後切後の騎手または馬の変更料…………… 3,000円
- (3) エントリー受付後切後の追加出場料……………規定出場料+3,000円
- (4) 種目変更料(1種目1人馬1回につき)…………… 5,000円
(ただし、フレンドシップについては(2)～(4)は適用しない)
- (5) 馬参加料 1頭につき…………… 10,000円

10. 申込開始日時、期限および申込方法

- (1) 申込受付開始日時: **4月25日(月)午前10時開始**(午前10時以前の受信は無効とします)
- (2) 申込受付終了日時: **4月25日(月)午後 3時終了(厳守)**。
- (3) 申込方法

申込は所定のエントリーシートに必要事項をみれなく記入し、電子メール(e-mail)にて下記アドレスまで送信ください。

申込受付は先着順とし、受付終了時点で競技用厩舎の収容可能馬数(200頭)を超える場合は、その後の団体は、キャンセル待ちとさせていただきます。今回は兵庫県馬術連盟会員団体枠として最大50頭を優先枠といたします。当連盟会員団体に対しても先着順とし、50頭を超えた段階で当連盟会員枠は 終了いたします。また、団体間の出場枠の譲渡は禁止し、出場辞退馬が出た場合は、必ず当連盟にお届けください。キャンセル待ちの団体にお回しいたします。

エントリー受付はeメールのみとし、FAXによる受付は致しませんのでご了承ください。

エントリー受付 eメール アドレス：
hyogobaren@clock.ocn.ne.jp

エントリーシートは当連盟ホームページよりダウンロードして必要事項を記入の上、メールでお送りください。シートはEXCELで作成しています。

ホームページのURL：
<https://www.hyogobaren.jp>

11. 参加料納入方法

参加申し込み受付終了後、申込順位をつけて返信メールにて発信団体にお知らせいたしますので、返信メール到着をご確認いただき、4月29日(金)午後3時までに、当連盟下記口座宛て参加料をご入金ください。なお、期日までにお振込みの無い場合は、出場を辞退されたものと見なしキャンセル待ち団体に出場枠をお回しします。

参加料の振込先

金融機関名 日新信用金庫 ひよどり台支店
口座番号 普通 0266419
口座名義 公益財団法人 兵庫県馬術連盟

連絡先

神戸市北区しあわせの村1-4
TEL:078-743-1147
FAX:078-741-3234
e-mail:hyogobaren@clock.ocn.ne.jp
担当者 松井久子(非常勤)

12. 入厩および退厩

(1) 入厩

○ 入厩は5月25日(水)午後1時以降随時とする。ただし夜間の入厩は事故防止のため禁止する。入厩と同時に健康手帳を大会本部派遣の獣医師に提出し、チェックを受けた後、運動が可能となります。入厩馬は、別添『三木ホースランドパーク入厩条件』を遵守のこと。

なお、5月25日以前に入厩を希望する場合は、三木ホースランド馬事部に事前に連絡し、許可を得ること。規定期間外の入厩の場合は、使用料金を直接三木HLPにお支払いください。

(馬事部は月・火はお休みです。TEL:0794-83-8110)

○ すべての馬匹は入厩検査を受けた後に会場を離れたときは、大会期間中に再度入厩することはできない。

(注)入厩馬房指定のご希望には応じかねますのでご了承ください。

(2) 退厩

退厩は随時とするが、5月29日(日)午後6時まで完了すること。大会本部にて登録証、健康手帳を受領し退厩すること。(受領を忘れた場合、後日着払い便にて送付する)

退厩に際しては馬房ならびにその周辺を清掃し、馬糞および湿った敷き料は所定の場所に投棄、残った敷き料は馬房の中央に積み上げること。なお、敷き料は大会本部で準備するが、馬糧の斡旋はしない。翌日以降退厩の場合は、ホースランドパーク馬事部に事前に届け出ること。

13. 服装および馬装は日本馬術連盟競技会規程最新版の定めるところによる。

14. その他

- (1) 大会本部は、5月25日(水)午後1時より5月29日(日)午後6時まで屋内競技場1F競技運営本部事務室に開設する。
- (2) 打ち合わせ会は5月26日(木)午後4時30分より、ホースランド事務棟2F会議室にて行う予定であるが、新型コロナウイルス感染症の状況によっては打ち合わせ会の形態を変更することがある。
- (3) 人馬の事故に対しては応急処置はするも、その責は負わない。
- (4) フレンドシップ競技は5月26日(木)午前11時より開始予定であるが、参加頭数により変更することがある。
- (5) 参加選手は、メディカル・カードを身につけていること。
- (6) ホースマネージャー夜間休憩所の利用を希望する団体は、「夜間利用申請書」を提出すること。
- (7) 大会開始日約2週間前に、大会スケジュール(タイムテーブル)、厩舎馬房配分表、夜間休憩所割振り表、フレンドシップ競技出番表を当連盟ホームページに掲載しますので必ずご覧ください。
- (8) 新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、日本馬術連盟及び当連盟制定の予防対策ガイドラインを遵守してください。なお、今後の状況によっては、開催を中止することがあります。
その際は当連盟ホームページにてお知らせすると共に、既にエントリーをいただいている場合は個別に連絡いたします。

以上

【重要なお知らせ】

当連盟主催・主管のすべての競技会に参加される選手は、競技会参加の申し込みをもって氏名、馬匹名、所属団体、成績及び写真を他の選手、関係者、一般の馬術愛好者に公表し、公益財団法人兵庫県馬術連盟のホームページ、並びに公益社団法人日本馬術連盟の情報誌、ホームページ等に掲載することに同意されたものといたしますのでご了承ください。

《参考》

三木ホースランドパーク入厩条件

(公財) 三木山人と馬とのふれあいの森協会
三木ホースランドパーク
令和2年4月1日改訂

当協会の施設に入厩する馬匹は、下記の条件を満たしてください。

【1】衛生条件

1. 繋養場所の全頭に対し、軽種馬防疫協議会が推奨するワクチンプログラムに則ったワクチン接種が行われていること。
2. 入厩前の滞在場所に馬インフルエンザ感染馬がいる場合は、当該施設からの入厩は許可しない。
3. 競技場入厩の1週間前から極力馬の移動を控え、入厩直前に発熱、咳や鼻水などの臨床症状がないことを確認すること。

【2】入厩条件

1. 下記の事項が記載された馬の健康手帳を携行すること。
 - 1) 馬インフルエンザの予防接種を以下の要領で実施した接種証明。
 - ・基礎免疫として、初回ワクチン接種を実施してから2週間から2ヵ月以内の間隔で2回目のワクチン接種が実施されていること。
 - ・基礎免疫完了後、7ヵ月以内に最初の補強接種を行い、それ以降は1年以内に継続的に補強接種を行っていること。
 - ※7ヵ月以内の間隔で春秋に実施するのが望ましい。
 - ・入厩する6ヶ月+21日以内に補強接種または基礎接種(2回目)を行っていること。
 - ・入厩する前1週間以内のワクチン接種は接種歴として認められない。
2. 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中(3ヵ月)の馬匹は出場できない。
3. 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前1週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師の検査を受けること。
4. 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。

以上

【別表】

第49回近畿馬術大会：障害飛越競技会 奨励金一覽表

種 目 名	1位	2位	3位	4位	5位	合 計
大障害飛越B:S&H	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
標準大障害飛越B	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
大障害飛越B:Final	70,000	40,000	25,000	15,000	10,000	160,000
中障害飛越A:S&H	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
標準中障害飛越A	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
中障害飛越A:Final	70,000	40,000	25,000	15,000	10,000	160,000
中障害飛越B:S&H	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
標準中障害飛越B	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
中障害飛越B:Final	70,000	40,000	25,000	15,000	10,000	160,000
中障害飛越C:S&H	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
標準中障害飛越C	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
中障害飛越C:Final	70,000	40,000	25,000	15,000	10,000	160,000
中障害飛越D:S&H	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
標準中障害飛越D	50,000	30,000	20,000	15,000	10,000	125,000
中障害飛越D:Final	70,000	40,000	25,000	15,000	10,000	160,000
合計	850,000	500,000	325,000	225,000	150,000	2,050,000

大障害B:標準・大障害B:ファイナル特別奨励金(無過失人馬奨励金)

種 目 名	金額	注記
標準大障害飛越B	150,000	無過失人馬が複数の場合は按分する
大障害飛越B:Final	150,000	無過失人馬が複数の場合は按分する

兵庫県馬術連盟主催馬術競技会（於：三木ホースランドパーク）

運営ガイドライン（新型コロナウイルス感染症対策）

公益財団法人 兵庫県馬術連盟

（令和2年6月12日作成）

（令和2年7月12日改訂）

本連盟主催の馬術競技会（以下大会と称す）について、新型コロナウイルス感染症（以下コロナと称す）の収束を見るまで、日本馬術連盟の馬術競技会運営ガイドラインに則り、さらに詳しく実際の現場で行うコロナ対策を以下に記すものである。

大会運営に携わる者、及び大会に参加するすべての関係者は、人命の安全を最優先に確保するため、全員一致協力して以下のガイドラインを遵守することが求められる。

また、このガイドラインに記載のない事項については、公益社団法人日本馬術連盟が定める「馬術競技会における新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大予防ガイドライン」（2020.07.10 第3版）を準用するものとする。

(https://www.equitation-japan.com/updata/File/200710_guideline.pdf)

（エントリー）

全てのエントリーはオンラインにて行うことを基本とし、オンラインが難しい環境にある団体については郵送、FAXも可とする。

エントリー締め切り後に棄権、あるいは追加、変更（選手、または馬）等が生じた場合は、競技前日（あるいは当日）に行う「打ち合わせ会」（監督会議）の時間短縮のため、会議の2時間前までに、事前に大会本部に書面にて届け出ること。

（追加エントリー・人馬の変更届）

打合せ会以降に発生した、追加、変更や棄権については、大会本部が準備するデスクに備え付けの用紙に各自が記入し、本部または本部が設置する特設ブースにて手続きを行う事とする。なお、追加、変更料については、大会終了後当該団体に請求書を送付するので指定口座へ振り込むこと。本部での金銭の授受は「密」を避けるため行わない。

（関係者の基本的遵守事項）

大会関係者は、全員が必ずマスクを着用し競技会場に臨場することを原則とする。マスクは各自が準備し着用すること。着用していない関係者は、大会会場に臨場することは出来ない。

また、大会本部、障害審判室、あるいは役員控室等に入室する場合、備え付けの消毒液で手指先を消毒してから入室すること。

なお、必要と判断した場合には、大会本部は、選手あるいは関係者に対し、「フェイスガード」の着用を要請する場合がある。この場合は指示に従いお互いの安全に努めること。

（選手について）

選手には騎乗中を除きマスクの着用を義務付ける。騎乗中は、呼吸障害や熱中症を防止するためマスクの着用は義務付けない。しかし、本人の意思でマスクを着用して騎乗する事を妨げるものではない。

選手は大会期間中、常に自身の健康状態を把握し、発熱や咳、のどの痛みなどがある場合は参加を見合わせる事。医療機関を受診した場合は、大会本部にその結果を報告すること。

また、同居家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合や、過去14日以内に日本政府が入国制限や、入国後の保護観察期間を必要とされている国、地域からの入出国者と濃厚接触がある場

も同様とする。

なお、上記の事項は、当該選手に関与するコーチ、グルーム等のすべての関係者にも適用される。

(準備運動場での注意)

準備運動場に入場する関係者（騎乗中のものは除く）には、全員マスクの着用を義務付ける。準備運動場については、「密」を避けるために人数制限を行うので、スタッフの指示に従うこと。

また、コーチ等が、選手に対し指導のために注意を促す場合、大声は出さないようにすること。

もし、騎乗者が落馬をした場合、その救助に当たる際には、騎乗者との飛沫感染については十二分に注意すること。またその際は、スタッフの指示に従い、緊急性を要しない場合には落馬者に群がることの無い様心掛けること。

(競技場での対応)

競技中はマスクの着用を義務付けないが、着用は妨げない。

もし、騎乗者が落馬した場合、スタッフが基本対応を行いメディカルサービスと連携して救護に当たる。その際、対応にあたる者には、マスク、フェイスガードの着用を義務付ける。

(表彰式)

表彰式は行うが、表彰台での主催者側からの賞品、賞状等の授与は行わない。事前に表彰用品を準備するので、各自でそれらを手にし（あるいはメダルを自分で首に掛け）、アナウンスに従って表彰台に登壇し、祝福を受ける。その際には、マスクの着用を義務付ける。写真撮影は距離を取って行うこととする

(審判席・障害飛越)

審判席は競技場を見る位置に全員が着席するので、向かい合った会話は無いが、打ち合わせ等を行う際には、審判員については十分に距離を取りマスクを着用、説明する審判長についてはフェイスガードの着用を義務付ける。

また、競技種目や担当者の審判経験にもよるが、各障害を無過失で飛越後に J 1 が行う確認（一通過）は基本的に省略する事とし、極力必要以上の会話をしないようジャッジすること。

また、もし、選手を審判席に呼び出して注意等を行う場合、審判席内では十分に距離を取り、マスク、フェイスガードを着用して話すこと。

(審判席・馬場馬術)

最低限の人数とすること。特にセクレタリーとのやり取りは前を向いて行い、セクレタリーはフェイスガードを着用すること。また、審判席の換気をよくするため、前後左右の窓・ドアは開放しておくこと。

審査用紙の回収に際しては、対面を避けるために、審判席の後方から審査用紙を回収すること。

(馬場馬術計算センターの係員)

この部署は「密」になり易く、また、会話も多いので、ここにはアクリルボードの設置とフェイスマスクの着用を義務付ける。

(馬の健康手帳について)

健康手帳は入厩チェックを受けた後、本部で保管し、退厩時に当該団体関係者に返却するのが現在行われている手順であるが、今後はチェックを受けた後、係員が各団体毎に、手帳を一纏めにして「袋」に封入し、返却の際もそのまま手渡し、当該団体の関係者に確認を依頼すること。なお、「袋」に封入後は大会本部にて「袋」をアルコール消毒すること。

(係員・役員の体制と必需品)

役員、係員の体制及び必需品(装備品)には細心の注意を払い、感染予防を徹底して行うことが重要である。

FEIもこの件に関し、オフィシャル(大会役員)の安全確保無くしては競技を開催させない方向である。基本的に自分の身は自分で守らなければならないが、各持ち場によって徹底した感染予防が必要である。

以下、各持ち場での装備品を記すので、最低限揃えなければならない。

【大会本部関係者】

- ・フェイスガード
- ・非接触型体温計(本部に入室の際必ず検温させる)
- ・全員マスク着用
- ・対面型アクリルボード

【スタッフワード】

- ・マスク
- ・非接触型体温計(準備運動場入場者全員検温)
- ・フェイスガード
- ・ゴム手袋

【障害審判室】

- ・マスク
- ・スピーカーの前に対面型アクリルボード(しゃべりが多いので)
- ・フェイスガード(全員)

【馬場馬術審判席】

- ・全員フェイスガード
- ・マスク
- ・個室の審判員とセクレタリーの間に対面型アクリルボード

【メディカルサービス】

- ・マスク
- ・フェイスガード
- ・非接触型体温計
- ・ゴム手袋
- ・防護服
- ・事故者用フェイスガード

【馬場馬術計算要員】

- ・マスク
- ・フェイスガード
- ・対面アクリルボード

【場内整備員】

- ・マスク

- ・軍手

【コースデザイナー・アシスタントコースデザイナー】

- ・マスク
- ・フェイスガード
- ・軍手

【ゲスト】

- ・マスク

その他(大会本部で確保すべき備品・消耗品等)

- ・手洗い用消毒液（散布式）
- ・除菌シート（ドアノブ、テーブル等の拭き取り）
- ・非接触型体温計(赤外線体温計等)
- ・マスク

以上